



Good Agricultural Practice(良い農業の実践)で、さらなる付加価値を

東京オリンピック・パラリンピックにおける食材調達の要件とされ、耳にすることが増えた「GAP(ギャップ)」。農林産物生産の各工程で改善を行う活動のことで、県では持続可能な農業経営を支援するため、GAPを推進しています。今回は新たにスタートした「ぎふ清流GAP評価制度」と、GAP推進の中核拠点「ぎふ清流GAP推進センター」についてご紹介します。

■問/県庁農産園芸課 ☎058(272)8436

ぎふ清流GAP評価制度ってどんな制度?

安全・安心な農林産物を生産するために、各生産工程で**農業者が守るべき108項目のルール**を定め、それが実践できているかを評価する制度です。「信頼される農場」から、「安心と信頼の岐阜の農林産物」をお届けします。



＼岐阜の豊かな自然を表現したロゴマークが目印!／

ぎふ清流GAP評価を受けた農業者が作る農林産物はどう違うの?



ぎふ清流GAPの評価が一定水準を満たす農業者が作る農林産物には、左のロゴマークが付けられます。安全・安心な農林産物の証です。

- ✓ 安全な土や水、肥料が使用されている
- ✓ 農薬が正しく安全に使用されている
- ✓ 整理整頓された清潔な農場で生産されている
- ✓ 働きやすく安全な労働環境で生産されている

みんな笑顔に!ウレシイことたくさん♪ぎふ清流GAPのメリット

農業者

環境に負荷を与えないよう配慮することで、環境保全に貢献できる食品事故を未然に防ぎ、農林産物の一層の安全性確保に繋がる農作業事故を減らし、作業者の健康と安全を確保できる余分な農業資材の購入を抑え、生産コストを削減できる信頼できるパートナーとして、取引先から選択されやすくなる

消費者

ロゴマークを目印に、信頼できる農業者から安心して購入できる

農業者

消費者



岐阜の農業が元気に!

ぎふ清流GAPの実践や、この取り組みを応援することはSDGsの実現にもつながります。



GAPに取り組みたい・申請したい

▼農業者のワンストップの窓口はこちら▼

ぎふ清流GAP推進センター

ぎふ清流GAP推進センターでは、県やJAグループ、関係機関と連携し、GAPに関するお悩みにお答えします。

●ご相談はこちらへ

☎058(216)1566



GAPで
農業の
健康診断!

●相談以外にこんな仕事もしています

①ぎふ清流GAP評価制度の推進と普及 ②専門の評価員による農場評価 ③GAP指導員の育成と資質向上

認証を目指す農業者の声

自信をもって農業を続けるために認証を目指しています



神戸町下宮青果部会協議会
ごとう下宮GAP組織会長 北村毅さん

「帳簿の作成や記録、防虫ネットなどの畑の整備など、GAPの実践は最初は面倒かもしれませんが、農業を産業として考えるなら当たり前のことばかりです。安全性を第三者に見てもらえるのは、自分の自信になりますし、販路拡大へのPRにも繋げていきたいと考えています」

